

臨床薬学 2

責 任 者・コーディネーター	臨床薬学講座地域医療薬学分野 高橋 寛 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床薬学講座地域医療薬学分野、歯学部口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野		
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 28 時間 (14 コマ)
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

薬局薬剤師は、調剤業務以外に地域の保健・医療・福祉への参画が求められている。特に、地域住民へのセルフメディケーションの支援、在宅医療での薬学的管理、疾患予防や健康維持のために地域保健活動への参画など、薬局薬剤師への期待は大きく、地域の行政や多職種と連携を取りながらその役割を果たすことが求められる。臨床薬学 2 では、地域医療における薬局薬剤師の役割について学ぶ。3 年で履修した臨床薬学入門や薬事関係法規・制度 1 や 4 年で履修する臨床薬学 1 を基礎として、調剤業務以外の薬局の地域活動に必要な基本的知識を学修し、地域連携薬局や専門医療機関連携薬局の機能、かかりつけ薬剤師や健康サポート薬局の役割について理解する。臨床薬学 2 は、チーム医療における薬剤師の役割を学ぶ臨床薬学 3 に繋がる科目である。また、災害時の薬剤師の役割や薬剤師に必要な歯科領域の基本的知識についても学修する。さらに、実務実習の事前学修科目であり、実務実習を実践するための基本的知識の基盤となる。

・教育成果（アウトカム）

地域医療における薬局薬剤師の役割、在宅医療に必要な介護保険制度や薬学的管理、一般用医薬品の役割など地域の保健、医療、介護に係る基本な薬学的知識を学ぶことにより、地域住民の疾患要望や健康維持・増進の支援や地域包括ケアシステムや在宅医療における多職種との連携に貢献できるようになる。

(ディプロマポリシー：1, 2, 4, 6, 8, 9)

・到達目標（SBO）

1. 保健、医療、福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。(52)
2. 多職種連携協働に関わる薬剤師、各職種及び行政の役割について説明できる。(53)
3. チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる。(54)
4. 地域における薬局の機能と業務について説明できる。(106)
5. 医薬分業の意義と動向を説明できる。(107)
6. かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義について説明できる。(108)
7. セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。(109)
8. 医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる。(111)
9. 代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。(741)
10. 代表的な症候（頭痛・腹痛・発熱等）を示す来局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択ができる。(1050)
11. 一般用医薬品と医療用医薬品、サプリメント、保健機能食品等との代表的な相互作用を説明できる。(745)

12. 一般用医薬品のリスクの程度に応じた分類（第一類、第二類、第三類）について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。（740）
13. 一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。（☆）
14. 以下の疾患・症候に対するセルフメディケーションに用いる一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。発熱、痛み、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病等（743）
15. 代表的な症候に対する薬局製剤（漢方製剤含む）、要指導医薬品・一般用医薬品の適切な取り扱いと説明ができる。（1051）
16. 主な養生法（運動・食事療法、サプリメント、保健機能食品を含む）とその健康の保持・促進における意義を説明できる。（744）
17. 代表的な生活習慣の改善に対するアドバイス事項について説明できる。（1052）
18. 地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を概説できる。（739）
19. 地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動（薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、アンチドーピング活動等）について説明できる。（1045）
20. 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議する。（1036）
21. 地域包括ケアの理念について説明できる。（112）
22. 在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる。（1039）
23. 在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる。（1040）
24. 在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。（1041）
25. 在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。（113）
26. 地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制（地域包括ケア）およびその意義について説明できる。（1035）
27. 地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。（115）
28. 公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる。（☆）
29. 現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議する。（1049）
30. 医薬品の歯科領域に関連する副作用について説明できる。（☆）
31. 口腔ケアと関連する疾患と薬剤師の役割について説明できる。（☆）
32. 災害時の薬局の役割について説明できる。（110）
33. 災害時医療について概説できる。（1058）
34. 災害時における地域の医薬品供給体制・医療救護体制について説明できる。（☆）
35. 診療報酬の仕組みを理解し、保険薬局におけるレセプト業務の流れを説明できる。（☆）
36. 学校薬剤師の役割について説明できる。（114）

・ 講義日程

（矢）西 104 1-D 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
5/9	金	2	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	「地域医療におけるチーム医療と薬剤師の役割」 1. 保健、医療、福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。 2. 多職種連携協働に関わる薬剤師、各職種及び行政の役割について説明できる。

					3. チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる。 4. 地域における薬局の機能と業務について説明できる。 5. 医薬分業の意義と動向を説明できる。 6. かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義について説明できる。 7. セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。 8. 医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べる。地域連携薬局や専門医療機関連携薬局と地域におけるかかりつけ薬剤師の役割について調べておくこと。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。
5/20	火	1	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	「プライマリケアと薬剤師（1）」 【頭痛・発熱編】 1. 代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。 2. 代表的な症候（頭痛・発熱等）を示す来局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択とその理由について説明できる。 3. 一般用医薬品と医療用医薬品、サプリメント、保健機能食品等との代表的な相互作用を説明できる。 4. 一般用医薬品のリスクの程度に応じた分類（第一類、第二類、第三類）について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。 5. 一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 【ディスカッション】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べる。一次性頭痛とその治療法、一般用医薬品に含まれる解熱鎮痛薬の成分と副作用について調べておくこと。

					事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。
5/23	金	2	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	「プライマリケアと薬剤師（２）」 【腹痛編】 1. 代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。 2. 代表的な症候（腹痛等）を示す来局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択とその理由について説明できる。 3. 一般用医薬品と医療用医薬品、サプリメント、保健機能食品等との代表的な相互作用を説明できる。 4. 一般用医薬品のリスクの程度に応じた分類（第一類、第二類、第三類）について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。 5. 一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 【ディスカッション】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べる。腹痛を起こす疾患、一般用医薬品に含まれる腹痛の治療薬の成分と副作用について調べておくこと。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。
5/27	火	1	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	「プライマリケアと薬剤師（３）」 【咳・鼻水編】 1. 代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。 2. 代表的な症候（咳・鼻水等）を示す来局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択とその理由について説明できる。 3. 一般用医薬品と医療用医薬品、サプリメント、保健機能食品等との代表的な相互作用を説明できる。 4. 一般用医薬品のリスクの程度に応じた分類（第一類、第二類、第三類）

					について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。 5. 一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 【ディスカッション】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べる。咳や鼻水を症状とする疾患、一般用医薬品に含まれる花粉症治療薬の成分と副作用について調べておくこと。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。小テストに備え、確認テストを復習すること。
6/3	火	1	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	「セルフメディケーションと薬剤師(1)」 1. 以下の疾患・症候に対するセルフメディケーションに用いる一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。かゆみ、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病等。 2. 代表的な症候に対する薬局製剤（漢方製剤含む）、要指導医薬品・一般用医薬品の適切な取り扱いを説明できる。 3. 一般用医薬品と医療用医薬品、サプリメント、保健機能食品等との代表的な相互作用を説明できる。 4. 一般用医薬品のリスクの程度に応じた分類（第一類、第二類、第三類）について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べる。要指導医薬品にはどんな医薬品があるか調べておくこと。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。
6/4	水	3	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	「セルフメディケーションと薬剤師(2)」 1. 主な養生法（運動・食事療法、サプリメント、保健機能食品を含む）とその健康の保持・促進における意義を説明できる。

					2. 代表的な生活習慣改善に対するアドバイス事項について説明できる。 3. 地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を概説できる。 4. 地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動（薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、アンチドーピング活動等）について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べる。健康サポート薬局とその活動についてインターネットなどで調べておくこと。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。
6/6	金	3	地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 牟岐 和房 非常勤講師 熊谷 明知 非常勤講師 平山 智宏 非常勤講師	SGD「地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性」 1. 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議できる。 【グループワーク】【ディスカッション】 事前学修：地域における医療機関と薬局薬剤師の連携事例（トレーシングレポート、退院時共同指導など）について事前にインターネットなどで調べて簡単にまとめること。 事後学修：グループワークで話し合ったことをまとめること。
6/6	金	4	地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 牟岐 和房 非常勤講師 熊谷 明知 非常勤講師 平山 智宏 非常勤講師	発表、まとめ「地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性」 1. 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議できる。 【プレゼンテーション】【ディスカッション】 事前学修：前回グループワークで話し合った内容やそれ以外の連携事例をインターネットなどで調べ、まとめること。 事後学修：グループで話し合った内容や発表で出した内容をまとめ、レポートとして提出すること。
6/10	火	1	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	「在宅医療と薬剤師」 1. 地域包括ケアの理念について説明できる。

					2. 在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる。 3. 在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる。 4. 在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。 5. 在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。 6. 地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制（地域包括ケア）およびその意義について説明できる。 7. 地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。 8. 公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べる。地域包括ケアの中で薬剤師は何ができそうかインターネットなどで調べておくこと。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。
6/11	水	3	地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 牟岐 和房 非常勤講師 熊谷 明知 非常勤講師 平山 智宏 非常勤講師	SGD「これからの医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性」 1. 現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議できる。 【グループワーク】【ディスカッション】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べる。事前課題を読んでプライマリケアやセルフメディケーションの必要性を調べておくこと。 事後学修：グループワークで話し合ったことを発表に向けてまとめること。
6/11	水	4	地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 牟岐 和房 非常勤講師 熊谷 明知 非常勤講師 平山 智宏 非常勤講師	発表、まとめ「これからの医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性」 1. 現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議できる。 【プレゼンテーション】【ディスカッション】

					事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べること。 事後学修：グループで話し合った内容や発表で出た内容をまとめ、レポートとして提出すること。
6/17	火	3	地域医療薬学分野 口腔顎顔面再 建学講座口腔 外科学分野	高橋 寛 教授 大橋 祐生 特任准教授	「口腔ケアと薬剤師」 1. 医薬品の歯科領域に関連する副作用について説明できる。(☆) 2. 口腔ケアと関連する疾患と薬剤師の役割について説明できる。(☆) 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べること。歯肉増殖、顎骨壊死、口内炎、口腔内乾燥症、感染性心内膜炎についてインターネットなどで調べておくこと。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。
6/20	金	2	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 大森 眞樹 非常勤講師	災害医療における薬剤師の役割 1. 災害時の薬局の役割について説明できる。 2. 災害時医療について概説できる。 【双方向授業】【グループワーク】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べること。災害医療の中で薬剤師はどんな活動をしてきたか、インターネットなどで調べておくこと。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、講義の感想をレポートとして提出すること。
6/24	火	1	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	「災害医療と薬剤師」 1. 災害時における地域の医薬品供給体制・医療救護体制について説明できる。(☆) 2. 診療報酬の仕組みを理解し、保険薬局におけるレセプト業務の流れを説明できる。(☆) 3. 学校薬剤師の役割について説明できる。 【双方向授業】【ICT(moodle、google form)】 事前学修：到達目標の内容に関し事前に教科書を用いて調べること。災害時

					に被災地の薬局・薬剤師はどんなことで困っていたか、学校薬剤師についてインターネットなどで調べておくこと。 事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。
--	--	--	--	--	--

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	薬学と社会 2024	薬学教育センター 編	評言社	2023
参	薬学と社会―医療経済・多職種連携とチーム医療・地域医療・在宅医療（臨床薬学テキストシリーズ）	乾 賢一 監修	中山書店	2017
参	アルゴリズムで考える 薬剤師の臨床判断 症候の鑑別からトリアージまで 改訂2版	木内 祐二 編	南山堂	2022
参	スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床 薬学Ⅲ. チーム医療および地域の保健・ 医療・福祉への参画	日本薬学会 他 編	東京化学 同人	2018
参	新ビジュアル薬剤師実務シリーズ薬剤 師業務の基本〔知識・態度〕第3版	上村 直樹、平井 みどり 監修	羊土社	2017
参	新ビジュアル薬剤師実務シリーズ調剤 業務の基本〔技能〕第3版	上村 直樹、平井 みどり 監修	羊土社	2017

・成績評価方法

総括評価：定期試験(論述式10%、MCQ60%)、第5回講義前の小テスト(MCQ10%)、第8回授業終了後にレポート提出(7%)、第11回授業終了後にレポート提出(7%)、第13回授業終了後にレポート提出(6%)
 形成的評価：講義毎の振り返りシートで理解度を確認し、フィードバックする。第7, 8回と第10,11回はそれぞれにグループ討議と発表会を行い、討議中に複数の講師がフィードバックする。

・特記事項・その他

事前学修・事後学修のポイント

事前学修：教科書の授業範囲に該当するページを読み、moodle上の事前課題について調べること。毎回15分程度要します。

事後学修：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。授業内容の要点・課題について理解できるようにすること。毎回30分程度要します。

更に、小テスト前には 2 時間程度、定期試験前には 4.5 時間程度の総復習の時間を確保する必要がある。

講義は教科書と配布資料を用いて実施する。授業終了時に講義内容に関する振り返りシートの記載を実施する。振り返りシートの記載は授業出欠確認を兼ねて実施する。学生参加型講義を実施するために、スマートフォン等を利用して演習やクイズを講義中に行うことがあるので、指示があった場合にはインターネットに接続できるように準備しておくこと。授業のわからなかったことや、要望を書くことができるようフォームを準備する。

試験やレポート等の課題に対するフィードバック方法

課題に関しては、授業中に回答例の一部を紹介するなどしてフィードバックを行う。提出されたレポートや小テストは、採点后、コメントを付けて、直接返却する。また、定期試験の解答用紙は、採点后返却し、moodle に解説あるいはコメントをアップする。

実務家教員担当授業の有無 有、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連
大学病院・薬局等で薬剤師の実務経験を有する歯科医師や薬剤師や教員が、専門領域に関する実務的な教育を、実例を交えて行う。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン (Panasonic Let's note CF-SV)	1	講義資料の映写、プレゼンテーション